日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年3月4日木曜日

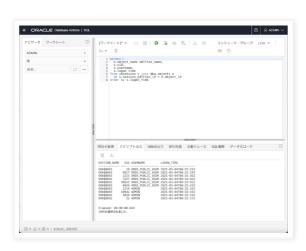
Autonomous Databaseでのデフォルト・エディションの変更

Autonomous Databaseでデフォルト・エディションを変更した場合、どの程度の時間で変更が反映されるか確認してみました。

確認に使用したSQLは以下です。

select
o.object_name edition_name,
s.sid,
s.username,
s.logon_time
from v\$session s join dba_objects o
on s.session_edition_id = o.object_id
order by s.logon_time;

SQL Developer WebにユーザーADMINでサインインして作業しました。



Oracle APEXでアプリケーション・ビルダーを開き、SQLコマンドから以下のSQLを実行できるようにしておきます。

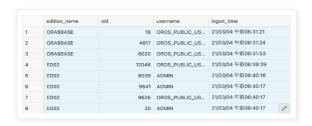
select sys_context('USERENV', 'SESSION_EDITION_NAME') from dual;



デフォルト・エディションをED02へ変更します。SQL Developer Webで以下のALER文を実行します。

alter database default edition = ed02;

以下のような結果になりました。



新しく生成された接続には、設定されたデフォルト・エディションが適用されますが、以前のセッションも残っています。

APEX側でのSQLコマンドの実行結果を見ても、コネクション・プールから取得される接続に依存して、結果がORA\$BASEだったりED02だったりします。



これでは開発できません。APEXのSQLコマンドで以下のPL/SQLスクリプトを実行します。

begin

dbms_session.set_edition_deferred('ED02');
end;

何度か繰り返すことで以前からの接続についても、セッション・エディションをED02に変更することができました。

Oracle APEXのアプリケーションに関してはセッション・エディションの変更の影響は受けないため、上記の対応を行うことによりページ・デザイナが参照するエディションを指定することができます。

完

Yuji N. 時刻: 16:03

共有

ボーム

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。 Powered by Blogger.